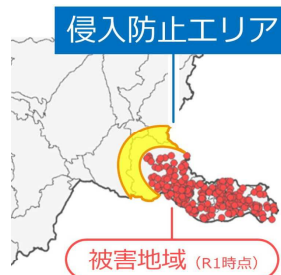


クビアカツヤカミキリ「予防対策事業」を開始します

「予防対策事業」について

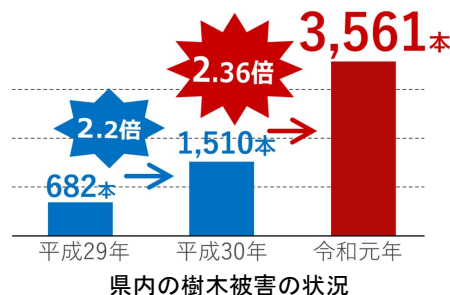
県では、全国初となるクビアカツヤカミキリの予防対策事業を、7月から開始します。

本事業は、被害がまだ発生していない地域に「侵入防止エリア」を設定し、エリア内のサクラ約4,000本に、幼虫の駆除に効果のある薬剤を注入することで、被害地域の拡大を防止するものです。



<クビアカツヤカミキリとは>

- ・ 幼虫がサクラやウメなどの木の内部を食い荒らす外来昆虫。
- ・ 被害を受けた木は衰弱し、枯れてしまうため、観光や農業など多岐にわたる被害が懸念される。
- ・ 繁殖力が高く、全国各地（※令和2年3月末時点で11都府県）に分布を拡大していて、環境省から「特定外来生物」に指定されている。

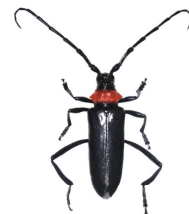


「クビアカ注意月間」のお知らせとお願いについて

6月下旬から7月までは、成虫の発生がピークを迎え、活発に移動して産卵するため、特に被害が拡大する危険な時期に当たります。

そこで県では、この期間を「クビアカ注意月間」とし、県民一丸となって被害の拡大防止を図ります。

被害拡大を防ぐため、以下の2点について、県民の皆様の御協力をお願いします。



クビアカツヤカミキリやフラス（幼虫のフンと木くずが混ざったもの）を見つけたら

- ① 最寄りの市町村役場へお知らせください。
- ② クビアカツヤカミキリは、棒などで叩く・踏みつぶすなどしてその場で駆除してください。

参考

【動画】衝撃！サクラを枯らす外来生物「クビアカツヤカミキリ」

<https://www.youtube.com/watch?v=qnHWjhmBk2E>

【県ホームページ】特定外来生物クビアカツヤカミキリに注意してください

http://www.pref.gunma.jp/04/e23g_00005.html